

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/03/16
1.3	2024/03/22	600000000031	初回作成日: 2018/06/25

---

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : CUROX<sup>®</sup>CC-P3

#### 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : United Initiators GmbH

住所 : Dr.-Gustav-Adolph-Str. 3  
82049 Pullach

電話番号 : +49 / 89 / 74422 - 0

電子メールアドレス : contact@united-in.com

緊急連絡電話番号 : +49 / 89 / 74422 - 0 (24 h)

#### 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 重合化開始剤  
難燃剤

---

### 2. 危険有害性の要約

#### 化学品の GHS 分類

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分 4

#### GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル : なし

注意喚起語 : なし

危険有害性情報 : H413 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ。

注意書き : **安全対策:**  
P273 環境への放出を避けること。  
**廃棄:**  
P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2022/03/16  
1.3 2024/03/22 600000000031 初回作成日: 2018/06/25

GHS 分類に該当しない他の危険有害性  
知見なし。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質  
化学名又は一般名 : 固体  
有機  
化学名又は一般名 : ポリ-1,4-ジイソプロピルベンゼン  
CAS 番号 : 25822-43-9

#### 成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
ポリ-1,4-ジイソプロピルベンゼン	25822-43-9	<= 100	7-2018

### 4. 応急措置

一般的アドバイス : 直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
危険域から避難させる。  
この安全データシートを担当医に見せる。  
被災者を一人にしない。

吸入した場合 : 吸い込んだ場合、新鮮な空気のある場所に移す。  
呼吸していない場合には、人工呼吸を施す。  
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合 : 症状が持続する場合は、医師に連絡する。  
皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。  
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。

眼に入った場合 : コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/03/16
1.3	2024/03/22	600000000031	初回作成日: 2018/06/25

---

- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 粉じんが眼に入ると、機械的な刺激が起きることがある。
- 応急措置をする者の保護 : 救急救命士は自己防衛に努め、推奨されている防護服を着用すること
- 医師に対する特別な注意事項 : 支持療法および対症療法を受けること。
- 

### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : ウォータージェットスプレー  
耐アルコール泡消火剤  
二酸化炭素 (CO2)  
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 特有の消火方法 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。  
汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。  
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
- 棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。  
安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。  
未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。  
保護具を使用する。
- 

### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 安全な取り扱いの助言や、個人保護具の推奨事項に従う。  
保護具を使用する。  
粉じんの発生を避ける。  
回収した物質は、廃棄上の注意 の項目に記載の方法で処理する。
- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。
-

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/03/16
1.3	2024/03/22	600000000031	初回作成日: 2018/06/25

製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 流出物は直ちに除去する。  
床およびこの物質で汚染された物体の洗浄には大量の水を使用する。  
不活性な吸収材で吸収させる。  
本物質を放出および廃棄処理する際、および、その浄化に使用した資材や品目を廃棄する際には、地方自治体や国の規則が適用されることがある。どの規則が適用されるかを決定する必要がある。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

技術的対策 : ばく露防止及び保護措置の項の設備対策を参照。

火災及び爆発の予防 : 粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。

安全取扱注意事項 : 作業室の換気や排気を十分に行う。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。  
取り扱い後に徹底的に洗う。  
個人保護については項目 8 を参照する。

接触回避 : データなし

非該当

衛生対策 : 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。  
飲食物から遠ざける。  
使用中は飲食しないこと。  
使用中は禁煙。  
休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。

#### 保管

安全な保管条件 : 各国の規定に従って保管する。  
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。  
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/03/16
1.3	2024/03/22	600000000031	初回作成日: 2018/06/25

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

**設備対策** : 作業場における曝露濃度を最低限に抑えること。

### 保護具

**呼吸用保護具** : 粉じんおよびエアゾール形成の場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。

フィルタータイプ : フィルタータイプP

### 手の保護具

材質 : ブチルゴム  
破過時間 : 480 min  
手袋の厚さ : 0.47 mm

材質 : ニトリルゴム  
破過時間 : 480 min  
手袋の厚さ : 0.40 mm

**備考** : 素材の破過時間/強さに関するデータは規格値なので、実際の破過時間/強さは、防護手袋の製造者から入手しなければならない。危険物質の濃度や量により、作業場に合った化学物質防護手袋を選ぶこと。特殊作業に使用する上記の手袋の耐化学物質性を手袋の製造元に問い合わせることを推奨する。休憩前や終業時には手を洗う。

**眼の保護具** : 作業場所の近辺に洗眼びんおよび安全シャワーを設けること。  
特定の職場で保護措置を選定する際全ての適用される国内/地方自治体の要件に従ってください。  
製品と眼が不慮に接触する可能性を払拭できない状況では常時ゴーグルを着用してください。  
密着性の高い安全ゴーグル  
適切なゴーグル、飛び散る危険がある場合は顔面保護具も付けること

**皮膚及び身体の保護具** : 化学的耐性データおよび局所における曝露可能性の評価に基づいて適切な保護衣を選択すること。  
肌表面が露出しないように、実施されるタスクに基づき、体を覆うガーメントを追加して使用しましょう（例、スリーブレッツ、エプロン、長手袋、使い捨てスーツなど）。  
必要に応じて着用 :

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/03/16
1.3	2024/03/22	600000000031	初回作成日: 2018/06/25

---

難燃静電気保護服。

保護対策 : 特定の作業場に存在する危険物質の濃度および量に応じて、保護装置のタイプを選択しなければならない。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: フレーク
色	: 白から淡黄色
臭い	: 特徴的
臭いのしきい(閾)値	: データなし
融点/凝固点	: 122 - 215 - C (1, 013 hPa)
沸点, 初留点及び沸騰範囲	: > 295 - C (994 hPa)
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	
爆発範囲の上限/可燃上限値	: 爆発範囲の上限 データなし
爆発範囲の下限/可燃下限値	: 爆発範囲の下限 データなし
引火点	: 非該当
自己発火性	: この物質または混合物は自然発火性としては分類されない。
pH	: 物質/混合物は(水に対して)不溶性です
蒸発速度	: 非該当
かさ密度	: 約 400 kg/m <sup>3</sup> (20 - C)
自然発火温度	: 不定
自己促進分解温度(SADT)	: 非該当

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/03/16
1.3	2024/03/22	600000000031	初回作成日: 2018/06/25

---

粘度		
粘度 (粘性率)	:	非該当
動粘度 (動粘性率)	:	非該当
溶解度		
水溶性	:	< 0.001 grm/l 不溶 (20 - C)
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	:	log Pow: 9.2 (20 - C) 値は算出されます。
蒸気圧	:	< 0.0013 hPa (25 - C)
密度及び/又は相対密度 比重	:	約 1.02 (23 - C)
密度	:	不定
相対ガス密度	:	不定
爆発特性	:	非爆発性 粉じんの発生を避ける。
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。
自己発熱性化学品	:	この物質または混合物は自己発熱性としては分類されない。
分子量	:	約 360 g/mol
粒子特性 粒子サイズ	:	不定

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性	:	推奨保管条件下では安定。
化学的安定性	:	推奨保管条件下では安定。 通常の保存状態では分解しない。
危険有害反応可能性	:	推奨保管条件下では安定。 粉じんは空気中で爆発性の混合物を生成することがある。
避けるべき条件	:	データなし
混触危険物質	:	データなし

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/03/16
1.3	2024/03/22	600000000031	初回作成日: 2018/06/25

非該当

危険有害な分解生成物 : 火災や分解で刺激性、腐食性、引火性の健康を害する / 毒性のガスや蒸気が発生することがあります。

### 11. 有害性情報

#### 急性毒性

データが不足しているため分類されていない。

#### 製品:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 423  
アセスメント: この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。

急性毒性（吸入） : 備考: データなし

急性毒性（経皮） : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 402  
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

#### 成分:

##### ポリ-1,4-ジイソプロピルベンゼン:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 423  
アセスメント: この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。

急性毒性（経皮） : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 402  
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

#### 皮膚腐食性／刺激性

データが不足しているため分類されていない。

#### 製品:

種 : ウサギ  
方法 : OECD 試験ガイドライン 404  
結果 : 皮膚刺激なし

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/03/16
1.3	2024/03/22	600000000031	初回作成日: 2018/06/25

---

### 成分:

#### ポリ-1,4-ジイソプロピルベンゼン:

種	: ウサギ
方法	: OECD 試験ガイドライン 404
結果	: 皮膚刺激なし

#### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

データが不足しているので分類されていない。

### 製品:

種	: ウサギ
結果	: 眼への刺激なし
方法	: OECD 試験ガイドライン 405

### 成分:

#### ポリ-1,4-ジイソプロピルベンゼン:

種	: ウサギ
結果	: 眼への刺激なし
方法	: OECD 試験ガイドライン 405

#### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

##### 皮膚感作性

データが不足しているので分類されていない。

##### 呼吸器感作性

データが不足しているので分類されていない。

### 製品:

暴露の主経路	: 皮膚接触
種	: モルモット
方法	: OECD 試験ガイドライン 406
結果	: 皮膚を過敏化させない。

### 成分:

#### ポリ-1,4-ジイソプロピルベンゼン:

暴露の主経路	: 皮膚接触
種	: モルモット
方法	: OECD 試験ガイドライン 406
結果	: 皮膚を過敏化させない。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/03/16
1.3	2024/03/22	600000000031	初回作成日: 2018/06/25

---

### 生殖細胞変異原性

データが不足しているので分類されていない。

#### 製品:

in vitro での遺伝毒性 : 方法: OECD 試験ガイドライン 476  
結果: 陰性

方法: OECD 試験ガイドライン 471  
結果: 陰性

#### 成分:

##### ポリ-1,4-ジイソプロピルベンゼン:

in vitro での遺伝毒性 : 方法: OECD 試験ガイドライン 476  
結果: 陰性

方法: OECD 試験ガイドライン 471  
結果: 陰性

### 発がん性

データが不足しているので分類されていない。

### 生殖毒性

データが不足しているので分類されていない。

#### 成分:

##### ポリ-1,4-ジイソプロピルベンゼン:

妊娠に対する影響 : 種: ラット  
投与経路: 経口 (胃管栄養法)  
一般毒性 親: NOAEL: 1,000 mg/kg 体重  
一般毒性 第一世代: NOAEL: 1,000 mg/kg 体重  
方法: OECD 試験ガイドライン 421

胎児の発育への影響 : 種: ラット  
母体の一般毒性: NOAEL: 1,000 mg/kg 体重  
発生毒性: NOAEL: 1,000 mg/kg 体重  
方法: OECD 試験ガイドライン 414

### 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

データが不足しているので分類されていない。

### 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

データが不足しているので分類されていない。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/03/16
1.3	2024/03/22	600000000031	初回作成日: 2018/06/25

---

**反復投与毒性****製品:**

種	: ラット, オスおよびメス
NOAEL	: 1,000 mg/kg
投与経路	: 経口
曝露時間	: 90 d
方法	: OECD 試験ガイドライン 408

**成分:****ポリ-1,4-ジイソプロピルベンゼン:**

種	: ラット, オスおよびメス
NOAEL	: 1,000 mg/kg
投与経路	: 経口
曝露時間	: 90 d
方法	: OECD 試験ガイドライン 408

**誤えん有害性**

データが不足しているため分類されていない。

**詳細情報****製品:**

備考	: データなし
----	---------

---

**12. 環境影響情報****生態毒性****製品:**

魚毒性	: LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): > 100 mg/l 曝露時間: 96 h 方法: 指令 67/548/EEC, Annex V, C. 1.
-----	--

ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性	: EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l 曝露時間: 48 h 方法: OECD 試験ガイドライン 202
-------------------------	--

藻類/水生生物に対する毒性	: EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): > 100 mg/l 曝露時間: 72 h 試験タイプ: 止水式試験 方法: 指令 67/548/EEC, Annex V, C. 3.
---------------	--

最大無影響濃度 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)):

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/03/16
1.3	2024/03/22	600000000031	初回作成日: 2018/06/25

---

100 mg/l  
曝露時間: 72 h  
試験タイプ: 止水式試験  
方法: 指令 67/548/EEC, Annex V, C. 3.

微生物に対する毒性 : EC50 (バクテリア): > 300 mg/l  
曝露時間: 3 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 209

#### 環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ。

#### 成分:

##### ポリ-1,4-ジイソプロピルベンゼン:

魚毒性 : LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): > 100 mg/l  
曝露時間: 96 h  
方法: 指令 67/548/EEC, Annex V, C. 1.

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l  
曝露時間: 48 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): > 100 mg/l  
曝露時間: 72 h  
試験タイプ: 止水式試験  
方法: 指令 67/548/EEC, Annex V, C. 3.

最大無影響濃度 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)):  
100 mg/l  
曝露時間: 72 h  
試験タイプ: 止水式試験  
方法: 指令 67/548/EEC, Annex V, C. 3.

微生物に対する毒性 : EC50 (バクテリア): > 300 mg/l  
曝露時間: 3 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 209

#### 環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/03/16
1.3	2024/03/22	600000000031	初回作成日: 2018/06/25

---

水生環境有害性 長期（慢性） : 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ。

**残留性・分解性**

**製品:**

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。  
方法: OECD 試験ガイドライン 301B

**成分:**

**ポリ-1,4-ジイソプロピルベンゼン:**

生分解性 : 結果: 急速分解できない  
方法: OECD 試験ガイドライン 301B

**生体蓄積性**

**成分:**

**ポリ-1,4-ジイソプロピルベンゼン:**

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 9.2 (30 - C)  
(log 値)

**土壌中の移動性**

データなし

**オゾン層への有害性**

非該当

**他の有害影響**

**製品:**

生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。  
長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ。

---

**13. 廃棄上の注意**

**廃棄方法**

残余廃棄物 : 認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。  
本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。  
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。

汚染容器及び包装 : 地方自治体の規制に従い処分する。  
内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/03/16
1.3	2024/03/22	600000000031	初回作成日: 2018/06/25

残りの容器を空にする  
製品入り容器と同様に処分する。

#### 14. 輸送上の注意

##### 国際規制

###### 陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号	:	非該当
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	非該当
国連分類 (Class)	:	非該当
副次危険性 (Subsidiary risk)	:	非該当
容器等級 (Packing group)	:	非該当
ラベル (Labels)	:	非該当

###### 航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	:	非該当
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	非該当
国連分類 (Class)	:	非該当
副次危険性 (Subsidiary risk)	:	非該当
容器等級 (Packing group)	:	非該当
ラベル (Labels)	:	非該当
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft))	:	非該当
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft))	:	非該当

###### 海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号	:	非該当
国連輸送名	:	非該当
国連分類	:	非該当
副次危険性	:	非該当
容器等級	:	非該当
ラベル	:	非該当
EmS コード	:	非該当
海洋汚染物質 (該当・非該当)	:	非該当

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**

供給された状態の製品には非該当。

##### 国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/03/16
1.3	2024/03/22	600000000031	初回作成日: 2018/06/25

---

**特別の安全対策**  
非該当

---

## 15. 適用法令

### 関連法規

#### 消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

#### 化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

#### 労働安全衛生法

#### 製造等が禁止される有害物

非該当

#### 製造の許可を受けるべき有害物

非該当

#### 健康障害防止指針公表物質

非該当

#### 変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

#### 変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

#### 名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

#### 名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

#### 特定化学物質障害予防規則

非該当

#### 鉛中毒予防規則

非該当

#### 四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

#### 有機溶剤中毒予防規則

非該当

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/03/16
1.3	2024/03/22	600000000031	初回作成日: 2018/06/25

---

**労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)**

非該当

**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法**

非該当

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危険物として規制されていない

**航空法**

危険物として規制されていない

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:**

TCSI (TW) : インベントリーに記載されている、または準拠している

ポリ-1, 4-ジイソプロピルベンゼン

ENCS (JP) : インベントリーに記載されている、または準拠している

ISHL (JP) : インベントリーに記載されている、または準拠している

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/03/16
1.3	2024/03/22	600000000031	初回作成日: 2018/06/25

## 16. その他の情報

### 詳細情報

- その他の情報 : この安全データシートには、安全性に関する情報のみが掲載されているので、商品情報や商品仕様に代わるものではない。  
これらの安全に関する指示は、製品が残留している可能性のある空容器にも適用される。  
表に記載の危険有害性は容器の残留物にも適用される。
- 引用文献 : 内部技術データ、原材料 SDS に基づくデータ、OECD eChem ポータルおよび欧州化学物質局 <http://echa.europa.eu/> の検索結果
- 日付フォーマット : 年/月/日

### その他の略語の全文

AIIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - テリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TEGI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータ

# 安全データシート

## CUROX<sup>®</sup>CC-P3



版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2022/03/16
1.3	2024/03/22	600000000031	初回作成日: 2018/06/25

---

はここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA